

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 令和6年度 学校における自己評価

立川市民科の取組の効果	・学年ごとの取組により、長期的に見て深められている ・継続した地域との繋がりがもてる
立川市民科の取組の課題	・地域の方の参集状況に応じて左右される ・単発的傾向にあり、探求学習が少ない

2. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
36.7%	46.5%	9.1%	3.2%	4.5%

②対象：保護者

項目：立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
39.3%	43.1%	6.0%	2.5%	9.1%